

## 消化器外科 を受診された患者さん、およびご家族の方へ

当院では下記の研究を実施しております。この研究は愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。

もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

研究名	根治切除可能な漿膜浸潤を伴う胃癌に対する周術期化学療法 (TS-1、パクリタキセル経静脈・腹腔内投与併用療法)第Ⅱ相試の追加観察研究
研究機関名	愛知医科大学
研究期間の長	病院長 藤原祥裕
当院の研究責任者	消化器外科 助教 松村卓樹
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者	近畿大学病院 外科 今野元博
本研究の目的	先進医療技術を用いて施行された「根治切除可能な漿膜浸潤を伴う胃癌に対する周術期化学療法(TS-1、パクリタキセル経静脈・腹腔内投与併用療法)第Ⅱ相試験」における、長期の治療成績を観察すること
調査情報該当期間	2014年8月から2021年12月までの情報を調査対象とします ※前試験となる「根治切除可能な漿膜浸潤を伴う胃癌に対する周術期化学療法(TS-1、パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法)第Ⅱ相試験」で取得した情報を含む
研究期間	承認後から2021年12月31日まで
研究概要	<p>●対象となる患者さん 当院にて先進医療「術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内および腹腔内投与の併用療法」(2014年8月～2021年12月)に参加頂いた患者さん</p> <p>●利用する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療記録</li> <li>・検査データ</li> </ul>